

# 記 載 要 領

## 地球局及び利用する衛星通信サービス等の概要用

### A 利用する地球局設備

- 1 局名称  
地球局の名称（15文字以内）とふりがなを記入してください。
- 2 局番号  
「都道府県番号（2桁）」－「都道府県が設定する各地球局毎の番号（3桁）」を記入してください。（「地域衛星通信ネットワーク第2世代全体システム基本設計書」（以下「基本設計書」という。）LASCOSM STD-103-2ページ参照。同ページの「A B－C D E」に該当する番号です。）
- 3 局種別  
都道府県庁局、政令指定市局、消防本部局、支部局、出先機関局、市町村局、消防・防災関係機関等局、車載局、可搬局、ヘリコプター局の別を記入してください。（基本設計書LASCOSM STD-200-1ページ参照。）
- 4 識別信号  
無線局免許状に記載されている識別信号を記入してください。V S A T地球局の場合は、V S A T地球局運用開始確認書に記載されている包括免許番号及び識別信号（呼称）を記入してください。  
なお、本書類提出時に識別信号が確定していない場合は、機構にて記入します。
- 5 V S A T区分  
該当する方に○印を付してください。
- 6 利用開始予定日  
利用開始予定日は、都道府県で予定する本運用開始日とします。  
利用開始日としては、原則として都道府県庁局等の地球局にあっては、本免許取得日とし、V S A T局については、初期回線設定実施後、機構が「V S A T地球局運用開始確認書」を交付した日となります。  
なお、利用変更申込書提出時は、設備等の変更を行った局の運用開始日となります。
- 7 サービスの利用場所  
地球局設備の据付場所の住所を、必ず都道府県名も入れて記入してください。
- 8 運用担当課（室）  
機器・設備の操作・運用を管理担当する部署の名称（できる限り係等の名称まで）を記入してください。
- 9 連絡先  
上記運用担当課（室）の運用担当者（部署）に確実に連絡がとれる電話番号及びファクシミリ番号を記入してください。代表番号の場合には、内線番号まで記入してください。
- 10 請求書送付先  
利用料金の請求書は地球局単位で作成されますが、その送付先の宛名については、職名のみ記入してください。例えば、原則として〇〇都道府県知事、〇〇市町村長、〇〇消防事務組合管理者等と記入し、出先機関等を請求先とする場合は、〇〇事務所長等と記入し、また、消防・防災関係機関としての国の機関、民間の法人等の場合は、ネットワークを管理する都道府県知事となります。

## B 利用するサービスの種類

個別の地球局毎に利用する衛星通信サービスの種類について、送信・受信の該当欄に○印を記入してください。

- (1) 個別通信
- (2) 直通通信  
直通回線を利用する場合（発呼を行う場合）、送信欄に○印を付して、摘要欄に利用（発呼）可能とする変復調器番号を記載して下さい。  
（記入例：全変復調器、01～05、01 02 05 06）
- (3) 都道府県内一斉指令  
都道府県庁局は全てこの送信機能を有していますが、その他の地球局で都道府県庁局の都道府県内一斉指令回線を通し送信できる機能を有する場合にも、この送信欄に○印を記入してください。
- (4) 委託同報（全国一斉指令）  
機構山口管制局の一斉指令回線を通して全国に同報できる機能を有する場合には、送信欄に○印を記入してください。送信欄に○印を付した場合は、摘要欄に応答結果受信用の衛星ファクシミリ番号を記入してください。  
なお、受信は都道府県庁局及び政令指定市局に限ります。
- (5) デジタル準動画伝送  
送信欄に○印を付した場合は、情報速度（64kbps、384kbps）の区分ごとに送信チャンネル数を記入してください。
- (6) パケット型データ伝送  
送信・受信欄に○印を付した場合は、情報速度（32kbps、64kbps、…）の区分及びその区分ごとの波数を送信・受信別に摘要欄に記入してください。
- (7) 帯域保証型データ伝送  
送信・受信欄に○印を付した場合は、情報速度（32kbps、64kbps、…）の区分及びその区分ごとの波数を送信・受信別に摘要欄に記入したうえで、別票2「併設局/QoS局登録票」に関連事項を記入し、本書類と共に提出してください。
- (8) 即時系・予約系IP型データ伝送  
摘要欄に1:Nマルチキャスト受信専用変復調器の設置の有無に○印を付してください。
- (9) デジタル映像伝送  
受信欄に○印を付した場合は、送信の有無に関わらずIRD-ID及びIRD名を別票1「IRD-ID登録票」に記入し、本書類と共に提出してください。  
IRD名には、都道府県名を付加してください。  
なお、本書類提出時にIRD-IDが判明しない場合は「IRD-ID登録票」の添付は省略できます。その場合、IRD-IDが確定次第「IRD-ID登録票」を別途提出してください。
- (10) ヘリサット映像伝送  
ヘリコプター局及びヘリサット基地局の場合は送信・受信欄に○印を記入してください。また摘要欄の「ヘリサット変復調器の数」に数量を記入してください。さらにヘリサット基地局の場合は識別信号を記入してください。

## C 設備の概要

### 1 地球局名称／地球局番号／変復調器番号／SDC番号／モデムタイプ

#### (1) 地球局名称

A 利用する地球局設備の1項地球局名称と同様

#### (2) 地球局番号

A 利用する地球局設備 2項地球局番号と同様

#### (3) 変復調器番号

変復調器番号は変復調器(MODEM)一個に1つの番号が対応するもので、変復調器番号は01から順次その地球局が有する変復調器の数までの番号が付されることとなります。(「基本設計書」LASCOM STD-103-2ページ中「FG」に該当する番号です。)

なお、変復調器が20以上ある場合には本用紙を複数枚使用し、すべての変復調器についての記載をおこなってください。

#### (4) SDC番号

SDC番号欄にはSDC番号「都道府県番号(2桁)」－「都道府県が設定する変復調器ごとの番号(4桁)」を記入してください。(別紙「SDC番号の採番方法」参照)

#### (5) モデムタイプ

モデムタイプ脇の型式記入欄にモデムの型式を記入してください。さらに、変復調器ごとにモデムタイプを下表のいずれかから選択し、モデムタイプ欄の略記のいずれかに○印を付してください。

モデムタイプ	略記
個別／高速データ(TX/RX 2M)	個／高(T/R 2M)
個別／高速データ(TX/RX 8M)	個／高(T/R 8M)
個別／高速データ(TX 2M/RX 8M)	個／高(T 2M/R 8M)
個別専用(32k)	個専
高速データ(TX/RX 2M)	高(T/R 2M)
高速データ(TX/RX 8M)	高(T/R 8M)
高速データ(TX 2M/RX 8M)	高(T 2M/R 8M)
個別通信(第1世代用モデム)	個通

(注) TX:送信、RX:受信、M:Mbps、k:kbps

### 2 送信機出力

送信機の飽和出力(その送信機の能力として有する最大出力)を記入してください。

なお、送信機現用系が複数系統ある場合には、送信機ごとに番号(①、②、…)を付して送信機ごとに記載してください。

例:① 300W、② 100W

### 3 アンテナ径

アンテナ径をメートル単位で小数点以下2桁まで記入してください。

### 4 最大送信チャンネル数

通信事業者が実施する回線設計の結果に基づき、以下の条件で各地球局において送信可能な最大送信能力を32kbps電力換算の送信チャンネル数(N)として記載してください。

算出方法は、基本設計書STD-502、2.11項に示す算出式『 $N_{max} = N - (N_0 + N_1) + 1$ 』のNの値とし、十進数で記載してください。

### 5 最大可変チャンネル数

通信事業者が実施する回線設計の結果に基づき、以下の条件で各地球局における第二

世代モデムが送信可能な最大送信能力を32kbps電力換算の送信チャンネル数(Nmax)として記載してください。算出方法は、基本設計書STD-502、2.11項に示す算出式『 $N_{max} = N - (N_0 + N_1) + 1$ 』のNmaxの値とし、十進数で記載してください。

6 伝送予約端末

伝送予約端末設備の設置状況の有・無を記載してください。

7 製造会社

地球局を整備したメーカー名を記入してください。

8 併設局/QoS局

併設局は、局内の交換機を経ないで、直接その地球局の特定の変復調器に有線接続することにより通信が可能な局をいいます。また、帯域保証型データ伝送サービスを利用する場合には、QoS局の登録が必要となります。

当該地球局に併設局もしくはQoS局が設置される場合、局名称、局番号及びSDC番号を当欄に記入し、別票2「併設局/QoS局登録票」も本書類と共に提出してください。

なお、車載局において、複数の変復調器により通信を行う場合には、変復調器ごとに局番号及びSDC番号を定める必要があるため、これらをこの欄に記入してください。

## SDC 番号の採番方法

下表のルールに従って、6桁の番号を変復調器毎に採番する。

地球局の種類	SDC 番号			
	県番号 01～63	県番号 64以上		
都道府県庁局	01～63	0000～0049	偶 数 県	0050～0099 0140～0199 0270～0299
政令指定市局	01～63	0100～0139		
支部局	01～63	0200～0269		
出先機関局	01～63	0300～0399		
市町村局	01～63	0400～0699	奇 数 県	0308～0387 0452～0511
消防本部局 消防・防災関係機関局	01～63	0700～0819		
車載局・可搬局	01～63	0900～0949		
予備番号	01～63	0950～0963		

(注) 下4桁は、局種類毎に表中左側の数字から始めて連続した番号を採番してください。  
(例、市町村局の変復調器が都道府県内ネットワーク全体で100個あれば、0400～0499を順番に採番する。)

(参考)

SDCとは Secondary DAMA Controller の略で、俗に子DAMAと称しており、各地球局の変復調器内に装備されております。親DAMAは、PDC ( Primary DAMA Controller ) といい、山口管制局のDAMA装置に装備されております。山口管制局においてこのSDC番号を親DAMAに登録することによって、ネットワーク内の全ての地球局間の回線割付等が可能となり、ネットワーク本来の機能が発揮されることとなります。

なお、DAMAとは、Demand Assignment Multiple Access の略で、「要求時割付け多元接続」という意味です。多数の回線で効率的な通信を行うため、当ネットワークではこのDAMA方式を採用しています。